科研費による国際会議開催補助について

日本木材学会では、2022年度より5年間、科学研究費補助金・研究成果公開促進費（国際情報発信強化）が採択されました。本補助金における取組の目的は、これまでの取組と成果を飛躍的に発展させ、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の達成」と「脱炭素社会の構築」へ貢献する木材の特徴を活かし、世界最先端の木材学の情報を、英文により世界に強く発信するとともに、現在活性化している木材学研究を多様な人材で推進していくため、若手研究者や女性研究者など幅広い研究者の活躍を促し、「JWS」を世界の木材学関連雑誌の世界第1 位に発展させることです。

具体的には、下記の4項目を推進いたします。

1) 欧米諸国からの投稿数増加によるJWS の真の国際化

2）ハンドリングエディターの権限強化による論文発行の迅速化

3）世界をリードする若手研究者及び女性研究者の育成

4) 国際シンポジウムの開催と特集号の発行による「JWS」の魅力・質的向上

1. 本補助金の趣旨

学術交流を目的として開催される国際シンポジウムに対し、科研費から補助する。

２．申請のための要件

1. 木材学会正会員が主催する**2025年度中に開催**される国際会議であること。
2. **日本木材学会を共催とする**こと。
3. 申請希望額は**50万円まで**であること。

ただし、総額100万円の範囲内で、採択件数は2～3件を予定している。

1. 会議終了後、**JWSに２編以上の投稿論文**を行うこと。

・２編以上のJWSへの投稿論文を主催者が担保すること。

・投稿は、会議終了後、３か月以内に行うこと。

・謝辞に科研費の課題番号等を入れること。

なお、投稿論文が採択された場合は、**APC（Article Processing Charge）料金の半額**を、科研費から別途補助します

1. 会議終了後1ヶ月以内に「国際シンポジウム実施報告書」を提出すること。
2. 広報物や出版物に科研費の課題番号を掲載すること。

３．申請書提出期限

「国際シンポジウム開催経費補助申請書」1部を、**2025年3月25日（火）まで**に、木材学会事務局（[office@jwrs.org](about:blank)）まで、メールの添付ファイルで提出すること。

４．選考

　選考は、国際委員会で行い、採択の結果は、2025年4月下旬に申請者に通知する。

日本木材学会　科研費補助事業

2025年度国際シンポジウム開催経費補助申請書

国際シンポジウム開催経費補助について、下記の通り申請します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| シンポジウム名称  （英語と日本語） |  | |
| 開催期間 | 年　　月　　日　～　　年　　月　　日（　　日間） | |
| 開催形式（選択） | 対面のみ　　対面＋オンライン　　オンラインのみ | |
| 開催場所 |  | |
| シンポジウムの概要 |  | |
| シンポジウムの日程 | 例）〇月〇日　午前：口頭発表、午後：特別講演会 | |
| シンポジウムの組織 |  | |
| 参加予定者数 | 国内研究者：　　　　　人  国外研究者：　　　　　人  口頭発表数：　　　　　件  ポスター発表数：　　　件 | |
| 国内外の主な招待講演者の氏名、所属 |  | |
| 全体の予定経費 | 国外招待講演者の旅費等 | 円 |
| 国内招待講演者の旅費等 | 円 |
| 招待講演者への謝金 | 円 |
| 印刷（製本）費 | 円 |
| 会場借料等 | 円 |
| 通信運搬費 | 円 |
| その他 | 円 |
| 合　計 | 円 |
| 上記のうち、本補助金での支出予定内訳  （50万円を上限とする） | 国外招待講演者の旅費等 | 円 |
| 国内招待講演者の旅費等 | 円 |
| 招待講演者への謝金 | 円 |
| 印刷（製本）費 | 円 |
| 会場借料等 | 円 |
| 通信運搬費 | 円 |
| その他 | 円 |
| 合　計 | 円 |
| JWS投稿予定者  （２名以上）  （氏名・所属） |  | |
| 申請責任者 | 氏名：  所属：  電話番号：  メールアドレス： | |

以上